タグチ工業　　コンクリート大割圧砕具

適用範囲		型　式		D-412
		質　量　kg		4,750
		取付可能機体質量（単位ｔ）		40～45
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
旋回装置	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ(内輪)	mm	20
		締付トルク	N・m	610
			kg・m	62.3
		取付ボルトサイズ(外輪)	mm	18
		締付トルク	N・m	450
			kg・m	45.9
装　油 置　圧	シリンダー (図6-8参照)	開閉シリンダー		
		伸縮量	mm	60
		測定時間	分	5
圧 砕 ・ 切 断 部	カッター (図6-9参照)	カッターの隙間G		
		基準値	mm	0.5
		許容限度	mm	2.0
	圧砕ポイント (図6-10参照)	圧砕ポイントA		
		基準値	mm	0
		許容限度	mm	45
		圧砕ポイントB		
		基準寸法	mm	56
		許容限度	mm	100

タグチ工業

１、開閉シリンダー伸縮量の測定

①圧砕具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態(シリンダー最縮長)で測定する。

②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、ａのストップバルブ(開閉ライン)を左右とも閉じる。

③Ｌ寸法を測定し、５分間経過後に再度Ｌ寸法を測定、その差を伸縮量とする。

※　ツインシリンダー型の場合は、左右２本のシリンダーを測定すること。

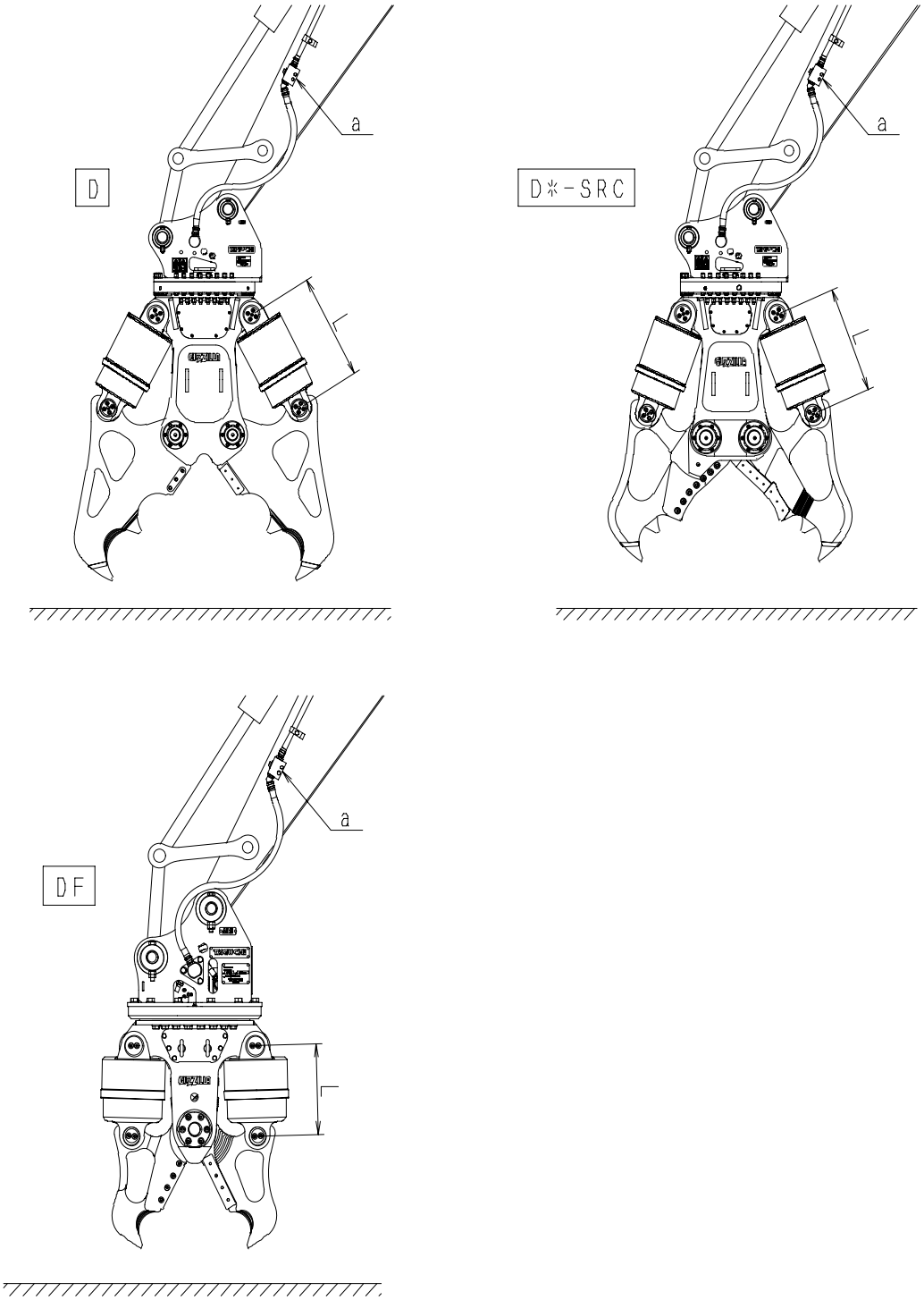

図6-8　開閉シリンダーの伸縮量測定姿勢

２、カッターの隙間測定

①全閉状態(シリンダー最伸長)で測定する。

②隙間ゲージによりG寸法を測定する。

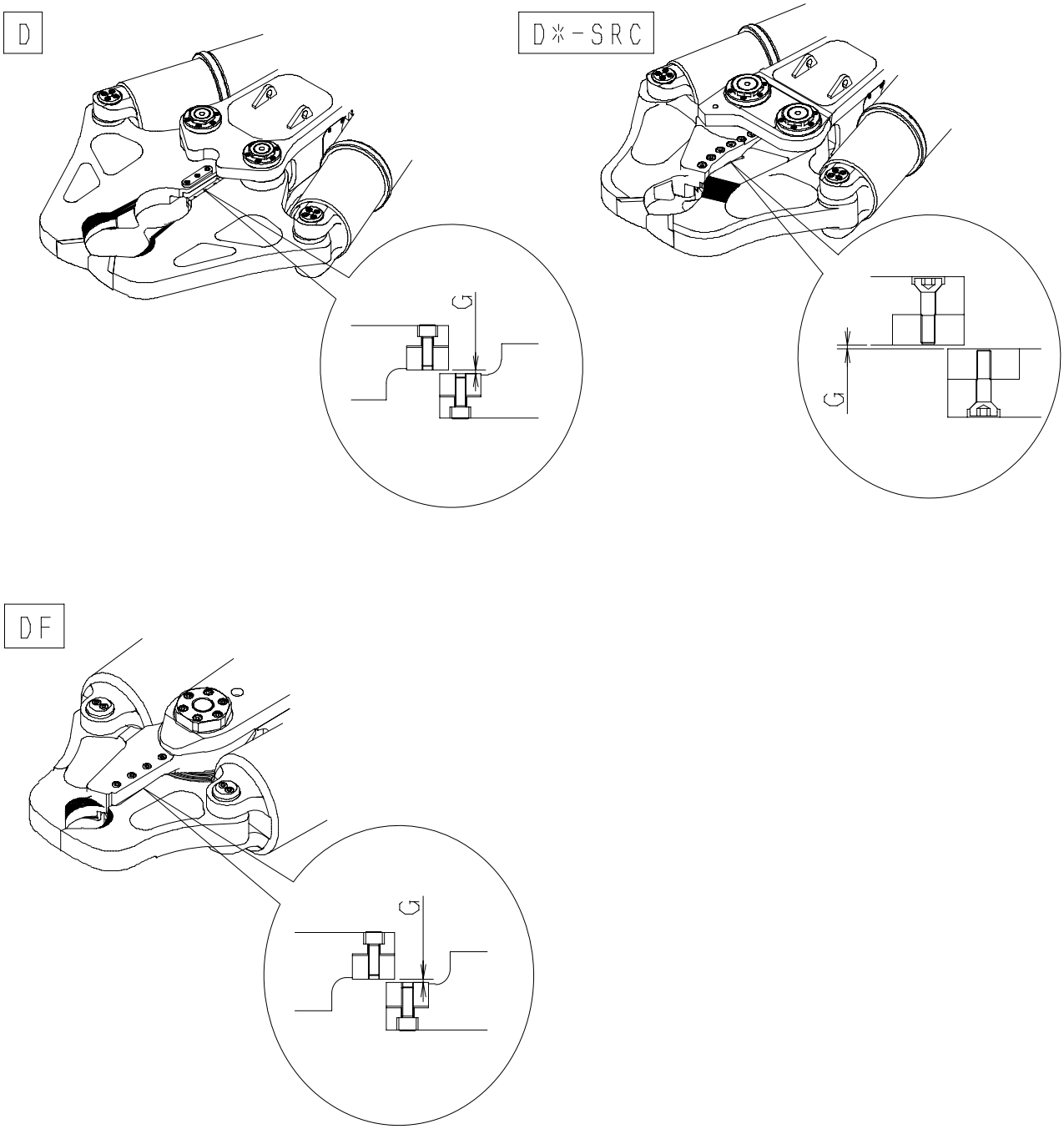

図6-9　カッターの隙間測定

タグチ工業

３、圧砕ポイントの測定

①圧砕具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、全閉状態(シリンダー最伸長)で測定する。

②A先端ポイント・B中間ポイントの隙間を測定する。

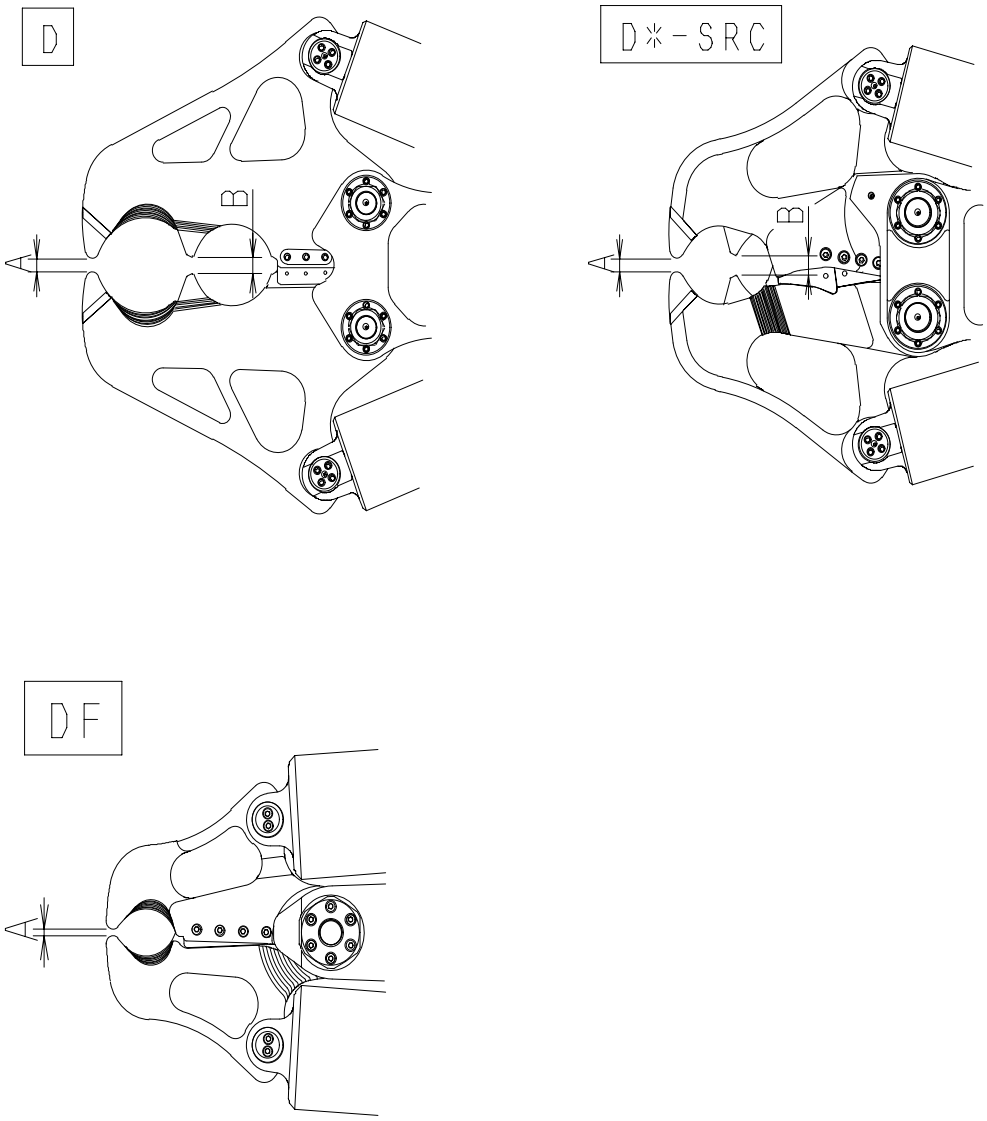

図6-10　圧砕ポイントの測定